

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



笑顔いっぱい
～2人でミニトマトの収穫～
(紹介は12ページ)

2018.8
No.
512

JA TOKORO FARMERS FESTA 2016

第11回組合員交流会

魅せよう！常呂の“農力”を

第11回組合員交流会『JA TOKORO FARMERS FESTA 2016～魅せよう！常呂の“農力”を!!～』が6月25日、JA玉葱選別工場特設会場で開かれました。

組合員交流会は、青年部が企画立案の中心となりJAと共に、集団長会、女性部、4Hクラブの協力のもと「管理作業が一段落した時期に、地域や世代間を超えた交流を図ろう」と開かれたものです。

昨年第10回目を経て、第11回目となった今回は、タイトルや内容もリニューアルし、新たなスタートを切りました。

当日はあいにくの天気で、倉庫内での開催となりましたが、組合員家族、関係機関、職員、農業研修生、411人が参加し交流を深めました。

猪野間尚人青年部長の開会挨拶、小野寺俊幸組合長の主催者挨拶、来賓の武部新衆議院議員、船橋賢二、塚本敏一両北海道議会議員、辻孝宗常呂自治区長の祝辞を頂いた後、佐野彰洋4Hクラブ会長の乾杯の音頭で交流会はスタートしました。

縁日コーナーでは、子どもも大人も楽しめるよう、綿菓子やポップコーン、輪投げ、ストラックアウトを、小豆生産組合からはオリジナルみたい焼き『ハッピーあんこストーン』を、組合員への日頃の感謝としてNTTドコモからは射的が提供され、大いに賑わいました。

た。また、4Hクラブによる豪快なジャンボ鉄板焼きそばが振る舞われました。

青年部が考案した地区対抗競技『肥料積みかえりレー』では、熱戦が繰り広げられ、肥料20袋のリレーで、2分7秒42のぶっちぎりの記録で日吉地区が優勝し、賞金とトロフィーが贈されました。

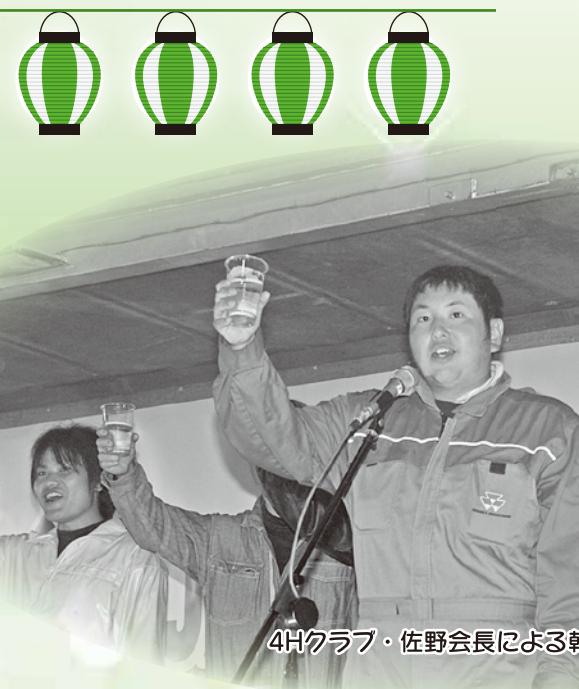
続いて組合員全員参加で『じゃんけん大会』が開催され、小野寺組合長、猪野間青年部長と、ジャンボじゃんけんによる大会が行われました。組合員329人の頂点に立ったのは、豊川地区の近藤凜香ちゃんでした。

お楽しみ抽選会では、食料品や雑貨、取引先提供による景品の他、マウンテンバイクやコーヒーメーカーなど豪華賞品5点が用意され、会場の皆さんは読み上げられる番号に一喜一憂、抽選のたびに歓声が上がりいました。

最後は、川上和則副組合長の一本締めで交流会は閉会となりました。

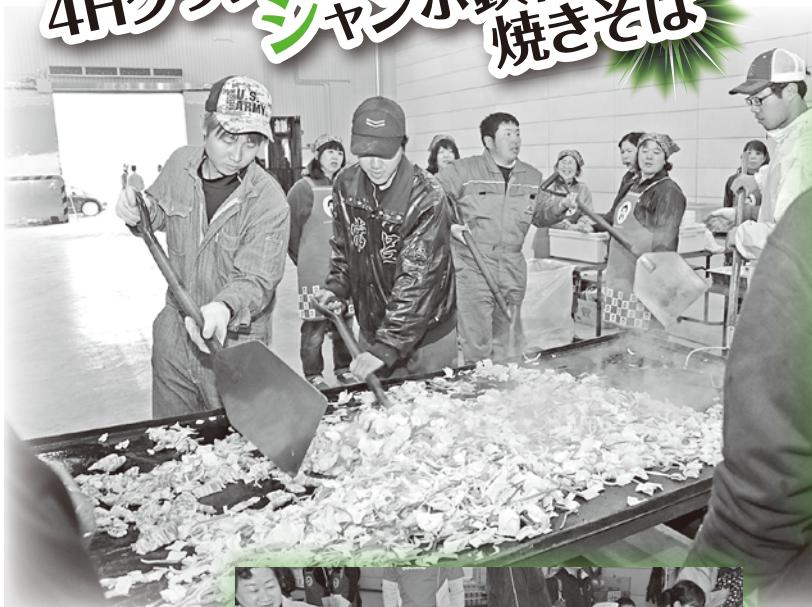
農作業の合間のひとときを参加者は交流を深め、間近に控えた収穫作業前に英気を養い、交流会は大盛況の内に終了しました。

企画・運営にあたった青年部をはじめ、女性部・4Hクラブの皆様、大変お疲れ様でした。



4Hクラブ・佐野会長による乾杯

4Hクラブ ジャシボ鉄板焼きそば



女性部
焼きそばの取り分け



射的
コーナー



わたあめ・
ポップコーン
コーナー



お子様に
お菓子の
プレゼント



ストラック
アウト

子ども 餅まき



輪なげ



町内小学生に 食と農を伝える

～青年部 食育事業～



● 猪野間部長の質問に元気よく手をあげる子どもたち

JJAとこる青年部（猪野間尚人部長）は7月13日、北見市立常呂小学校を会場にして、町内の3校（常呂、錦水、川沿）合同で3年生と4年生を対象にした「食農教育」の出前授業を行い、児童52人が参加しました。この取り組みは、将来を担う子どもたちに、青年部が本町で生産される各作物の生産過程と消費過程をわかりやすく説明し、農業に対する興味や関心を抱いてもらうことと併せて、青年部員自らも「農業を伝える」力を身に付けることを目的に平成23年度から行われています。

今回の授業では、本町の作物を知つてもらうため、町内で栽培されている生育中の作物を用意し、作物の種子や加工品を当てるクイズ形式で行いました。また、今年はてん菜と小豆の栽培写真を用意し、「どんな作業をしているのか」「写真を見て当てるクイズを行うなど、子どもたちが農業に興味を抱くよう、工夫しながら授業を行いました。

児童からは「農業のことが知れてよかったです」「授業が楽しかった」と感想を話し、作物を見たり触れたりしながら真剣に説明を聞いていました。



● 生育中の作物に興味津々！

早取肥料共同自己引取を実施

～JJAとこる青年部～

JJAとこる青年部

長い取り組みです。

今年は悪天候による

引取りの延期が2日ありました。青年部の活躍により2,500tもの肥料が各戸へ引受けられました。

組合員の皆様には、肥料の申し込みや引取りにご理解とご協力を頂きましたことに、お礼申上げます。

この事業は、青年部による肥料推進活動の一環として昭和60年から行われている歴史の

クラブ員の団結力深め

来年こそ予選通過し、上位入賞に期待しております。

超えて、80mの距離を7人で引っ張り順位を競い合う競技です。

結果は惜しくも予選通過となりませんでしたが、競技に出場しないクラブ員も応援に駆け付けるなど、クラブ員同士の団結力が高められた1日となつたのではないかでしょうか。



● 参加したクラブ員のみなさん



● 肥料を積み替える青年部員



マイナス15℃の世界を
体験中



○オホーツク海を背景に記念撮影

フレッシュユミセス部会（森澤滋子部会長）は7月6日、部会員19人が参加し、網走・東藻琴方面的夏季視察研修を行いましたので、研修要点を報告します。

最初の視察は、ひがしもじと乳酪館。平成8年に設立した同館は、東藻琴の大地でのびのび育った乳牛から採れる生乳を原料とし、バターやチーズなどを主に製造しており、その工程の見学やチーズの歴史について学びました。

最後の視察先は、網走市の「流氷館」。同館は昨年8月にリニューアルオープンしたばかりで、館内は白と青を基調とした流氷をイメージしています。館内に入って、プロジェクションマッピングを使用した流氷の映像や、音

フレッシュユミセス部会（森澤滋子部会長）は7月6日、部会員19人が参加し、網走・東藻琴方面的夏季視察研修を行いましたので、研修要点を報告します。

最初の視察は、ひがしもじと乳酪館。平成8年に設立した同館は、東藻琴の大地でのびのび育った乳牛から採れる生乳を原料とし、バターやチーズなどを主に製造しており、その工程の見学やチーズの歴史について学びました。

最後の視察先は、網走市の「流氷館」。同館は昨年8月にリニューアルオープンしたばかりで、館内は白と青を基調とした流氷をイメージしています。館内に入って、プロジェクションマッピングを使用した流氷の映像や、音

と振動で楽しむ8分間の映画を見せて頂きました。その後、館内で本物の流氷が楽しめるマイナス15℃の部屋へ行き、部会員は濡れタオルを凍らせる実験を行いました。

部会員からは、「館内がすごく綺麗で楽しく学べた」と感想を話してくれました。

今回の夏季視察研修は、天候にも恵まれ、部会員間の交流を一層深めました。全ての視察研修を終えることが出来ました。

今回の講習は、4つのテーマをもとにそれぞれ講師を招き行いました。1つ目のテーマは【畑の栄養を学ぼう】と題し、ホクレン生産資材課の大館泰彦氏に肥料とは何か、肥料の3大要素・種類についてお話し頂きました。

2つ目のテーマは【作物の葉を学ぼう】と題し、大館氏と㈱ホクサン技術普及課の斎藤省吾氏に農葉のノウハウをお話し頂きました。

3つ目のテーマは【農業者初心者ワード】と題し、網走農業改良普及センターの田中理恵専門普及指導員に農業用語について詳しく教えて頂きました。

4つ目のテーマは【畑の土を学ぼう】と題し、網走農業改良普及センターの大平純一地域第二係長に土壤についてお話し頂きました。

近隣の施設で農と自然を学ぶ ～フレッシュユミセス部会・夏季視察研修～

まから用語までの基礎を知ろう! ～第2回みのりセミナー開講～

JJAとこころが行っている、女性農業者を対象とした「みのりセミナー」の第2回講習会が7月1日、JJA会議室で開かれました。

今回の講習は、4つのテーマをもとにそれぞれ講師を招き行いました。

講習会を終えた参加者は「家族で仕事について話していても会話についていけないことが多いが、これからは少しでも会話に参加していけそう」、「肥料や農葉について深く知ることが出来て良かった」と感想を話してくれました。



○講師のわかりやすい説明に耳を傾ける受講生

**生産者自らが現地へ
常呂町をPR**

全道の道内産食材を生産者が消費者に説明しながら直接交流する「北海道めぐみ愛食フェア2016」が6月22日から24日までの3日間、札幌市道庁赤れんが前で開かれ、昨年に引き続き当JA生産組織（小豆生産組合 玉葱振興会、二ノ二ヶ耕作者部会、組合員計12人）が自ら現



札幌で初めて「ハッピーあんこストーン」を PR !

分達の手で自信を持って販売できる良い機会だと思う」と話す。帰町後の反省会でも、「常呂町農業のPRのため、継続して参加していくべき」との声が多数出ました。今年も来場頂いた多くの方々に常呂町の魅力が存分に伝わり、常呂町のPRは大成功で終了しました。

（林健志組合長）のフィールドレーが7月5日、森林公園パークゴルフ場を会場に、生産組合員と家族、カルビーブル、カルビーポテト株の2社、合わせて69人の参加のもとパークゴルフ大会が開かれました。

林組合長の開会挨拶後、各組に分かれ2コースを回りました。天候は晴天の中での開催となり、好スコアで優勝を目指す人、スコアに関係なく親睦を深める人などで盛り上がりを見せました。

パークゴルフ大会終了後は



開会挨拶をする林組合長

森林公園焼肉ハウスに移動し、引き続き懇親会を行い、今後の疫病・軟腐病の予防的防治を徹底し、豊穰の秋を迎える事などを確認しました。

団体の部

優勝
岐阜
土佐
岐阜
4 2 1
63 63 62
• • •
0 0 7

男性の部
(敬称略)

優勝	高橋	金吾
2位	林	孝広
3位	林	隼也
4位	山内	
5位	安原	美之
	裕治郎	



高橋金吾さんの見事なワイニングショット!

ヨルヲレシナカラ支流を深め

フィールド
デー開催





常呂町玉葱振興会（清井俊幸会長）は7月7日、森林公園パークゴルフ場で夏季交流会を開き、会員と家族、普及センター、農業研修生、併せて45人が参加しました。

晴天に恵まれた当日、清井会長の開会挨拶のあとプレーが開始され、会場ではボールを打つ快音が響きました。また、各チーム和気あいあいとした雰囲気の中で白熱した試合が行われました。

パークゴルフ終了後は焼肉ハウスで懇親会が行われ、結果発表では上位入賞者にアウトドア用品や家庭用品など豪華賞品が贈られ、会員一同今后の英気を養いました。

狙いを定める
共立地区の齊藤太賀さん

3位	2位	優勝	男子の部 (敬称略)
中島 近藤	安藤 賢人	大友 由美	齊藤てつ子 齊藤香奈子
圭介	英徳		

尚、パークゴルフの結果は
以下の通りです。



焼肉を食べながら、楽しいひと時を過ごしました

仕事の合間に交流を深める

～玉葱振興会 夏季交流会～

JJAといろ年金友の会（佐藤国昭会長）は7月6日、常呂町屋外ゲートボール場で第43回を迎えた「ゲートボール大会」を開き、会員23人が参加しました。

当日は、この上ない晴天の下、審判の元気の良い掛け声が響き、選手のハツラツとしたプレーが見られました。4チームの総当たり戦で8試合が行われ、4時間にも及ぶ熱戦を勝ち抜いた、岩井義郎チームが優勝となりました。

優勝 岩井義郎チーム（敬称略）

（岩井義郎、後藤勝、道端智子、
中島正道、近藤房男、久世登百子）

JJAといろ年金友の会は7月7日、常呂町森林公園パークゴルフ場で会員37人が参加しパークゴルフ大会を行いました。

開会にあたり佐藤会長より「日頃の練習の成果を発揮していただきたい」との挨拶後、プレーが開始されました。

この日は好天に恵まれ、参加者たちはは親睦を深め、ホールインワンも出るなど心地良い汗を流しました。

上位者には『玉葱スープ』や『ゼンざい』などJJAところの特産品が送られました。結果は以下の通りです。（）がスコア

3位	2位	優勝	男子の部 (敬称略)
岩井 義郎	澤田 孝	橋本 典雄	（91）（90）（89）



（写真上）岡崎俊光さんの見事なスウイング
（写真下）佐藤会長と上位者の皆様



田房正吉さんのショットに皆注目です！

クリーンな環境づくりに向け

—廃プラ回収—

農産物を生産する過

程で使用する農具、農
機器、農業空容器など
を適正に回収すること
が義務化されています。

この様な中、本年
第1回目の廃プラ回収
が6月16日と17日の2
日間、10号倉庫で行わ
れました。

今回の回収で110
戸の組合員皆さんから

農ポリ41.320
kg、農ビ41.9kg、工
レメント容器242
kg、農業空容器122
kg、ペール258kgが
回収されました。

収穫を終えた秋にも
2回目の回収を行いま
すので、廃プラのリサ
イクルから始まるクリ
ーンな環境づくりにご
協力をお願いします。



●処理業者によって適正処理されました

家畜への鎮魂と感謝の意を込め

—獣魂祭執り行つ—

JJA(小野寺
俊幸組合長)は7月14
日、共立のJJA川東牧
場にある獣魂碑前で、
獣魂祭を執り行いました。

当時は晴天に恵ま
れ、JA役員、各関係
機関、畜産農家など22
人が出席しました。
この獣魂祭は、日頃



●焼香を行う
河野光伸酪農振興会長

向かい焼香を行い家畜
の靈を慰めました。

JJA(小野寺
俊幸組合長)による研修旅行が6月20日から21
日の日程でOB会員とご婦人方を含め
総勢15名にて実施されました。

初日は旭川の男山酒造に立ち寄り後、
美瑛町へ向いパッチワーケの丘などの
丘陵地帯を巡りながら富良野から十勝
方面へのロングドライブとなりました。

2日目はイギリスト庭園がある十勝
ヒルズと日甜ピート資料館を視察見学
しました。

ヒート資料館では北海道における

常呂町の先進的な 取り組みを視察

—管内農業士夏期研修—

JAホーツク管内指導
農業士・農業士会の夏
期研修会が7月6日、常
呂町で開催されました。

管内の指導農業士、
農業士や関係者計61人
が参加し、ファーマー^マ
ズハウスうえるや町内
圃場を視察しました。

「うえる」を視察し
た参加者は、同施設の
参入者の石田雄三さ

概要説明を受けたあ
と、農業研修生に関す
る事や、研修手当、募
集方法など、活発に質
問し、当JAの研修施
設に高い関心を寄せて
いました。

その後は、にんにく
を生産している農業士
の森澤正太さん、新規
参入者の石田雄三さ



●うえるの施設を見学する農業士の方々

ん、ドローンでの施肥管
理をする小野寺靖さんの
圃場を視察しました。



●十勝ヒルズでの視察風景

会員相互の親睦を深める

—役員OB会視察研修—

JAとJJA役員OB会（林寿美男会
長）による研修旅行が6月20日から21
日の日程でOB会員とご婦人方を含め
いて詳しく説明を受け、参加者一同熱
心に聞き入っていました。

尚、宿泊先で第21回の総会を開催
し、次年度の計画を協議しました。

JJA(小野寺
俊幸組合長)による研修旅行が6月20日から21
日の日程でOB会員とご婦人方を含め
総勢15名にて実施されました。

初日は旭川の男山酒造に立ち寄り後、
美瑛町へ向いパッチワーケの丘などの
丘陵地帯を巡りながら富良野から十勝
方面へのロングドライブとなりました。

2日目はイギリスト庭園がある十勝
ヒルズと日甜ピート資料館を視察見学
しました。

ヒート資料館では北海道における

JAとJJA役員OB会（林寿美男会
長）による研修旅行が6月20日から21
日の日程でOB会員とご婦人方を含め
いて詳しく説明を受け、参加者一同熱
心に聞き入っていました。

尚、宿泊先で第21回の総会を開催
し、次年度の計画を協議しました。

農業の大規模化が進む一方で後継者不足が深刻な課題となっている中、作業の負担を減らしながら収益性を高める一環として、道庁主催の情報通信技術を活用した「超省力化農業」の実演会が7月12日、十勝管内の本別町農業大学校で開かれ、全道から農業者と関係者約500人が参加しました。

実演会では、倉庫から畑まで走行しロータリー掛けの作業を行い、作業終了後、倉庫まで自動で戻る無人のロボットトラクターと、踏圧の軽減と作業機械の購入費削減を図り、1台の大型トラクターの代わりに小型トラクター3台を使用し、作業幅を確保した中の連携作業を行った無人口ボットトラクターの紹介が行われました。このうちの1台には、視察に訪れた高橋はるみ知事が搭乗し、ロボットトラクターの快適な作業を体験しました。高橋知事は「とても乗り心地がよく快適でした。この様な技術は、北海道農業の救世主となる。北海道としても産学官連携のもと協力をやっていく」とこの技術の将来性を話していました。

今回ロボットトラクターを手掛けた北海道大学の野口伸教授は「将来的に安全を確保しながら1台から10台のロボットトラクターの連携で、耕起

作業から播種作業までの一連の作業を同時に見えるようにしたい」と説明をしていました。

他には、各協賛トラクターメーカーによる遠隔操作の自動運転等、近未来の技術の実演が行われました。



● 無人走行するトラクター(1番後に搭乗しているのは高橋はるみ知事)



設立までの経緯を説明する今橋発起人代表

最新技術で「スマート農業」を実践

科学的進歩する農業に向けて —常呂町スマート農業研究会 設立—

常呂町スマート農業研究会設立総会が7月13日、JA会議室で開かれました。

この研究会は、常呂町地域の情報通信技術(ICT)を活用した超省力農業や高品質生産を目指し、JAと協力しながら情報を共有し、早期にスマート農業の確立に向けた取り組みを行うことを目的としています。

設立総会では、発起人代表の福山地区の今橋正弘氏は「これから農業は、科学的に進んで行くだろうと考え、各地区に呼びかけ、会の設立に向け話をさせてもらひ、本日を迎える事が出来た」と設立までの経緯を話しました。来賓の小野寺俊幸組合長からは「常呂農業の先進的な取り組みに対し、JAもバックアップを行なっていく。パソコンも昔は珍しかったが、今は当たり前の時代。この技術も当たり前にするために、この組織は今後の農業に對するあり方を研究・研修していくだけることを期待している組織」と

役員選出では、会長に共立地区的佐藤文彦氏、副会長に福山地区的遠藤一也氏、豊川地区的馬渕修氏の3人が選出されました。就任した佐藤会長は「情報通信技術も大事ですが、農業の基本は、しっかりととした土づくりが大事です。この基本をもとに、技術を取り入れ精度の高い農業を行うよう事業を行っていく」と抱負を述べました。

総会終了後、イソップアグリシステム株の馬渡智昭氏より記念講演を頂き、常呂町農業に新しい組織が誕生しました。



● 総会終了後に開かれた講演会



退職のお知らせ

現在の農業・農協を取巻く情勢は、国内外からの攻勢が強くなつておられます。が、當田農業を守るために、組合員・役職員一丸となつて協同の力を發揮されることを」祈念申し上げます。

退職後は、引き続き當農推進室にて勤務し、組合員の皆様のお役に立てるよう、力を注いで参りますので、以前と変わらないご交説の程よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、組合員・役職員の皆様のご健勝とJAとの益々の「」发展をこ祈念申し上げ、退職の挨拶とさせて頂きます。

39年の長い間本当にありがとうございました。

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、麦の収穫を間近に控えお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。さて、私事ではあります、6月30日をもって定年退職致しました。昭和52年3月に技術員として奉職し、以来39年間に亘り勤務させて頂きました。在職期間中は作業服を着て勤務する期間が大半であります。その間、組合員の皆様、役職員及び関係機関の皆様方の多大なるご指導、厚情を賜り、無事定年を迎えることが出来ました事に、心よりお礼を申し上げます。



農推進室 室長
金澤 和美

宮農企画課からの お知らせ



結婚相談員 (非常勤)

林文男

御用のある方は下記までご連絡下さい
営農企画課：54-2121
携帯：080-1898-9656

ムにボールを打ち込む瞬間と、サービスエースで得点を取ったときが快感でした。

中学まではプレイヤー専門だったのですが、高校ではマネージャーをやってたといふこともあり観戦する楽しさも知りました。現役の頃は見る機会の少なかつた男子バレーの迫力に感動したのを今でも覚えています。マネージャーは雑用のイメージがあると思いますが、実際は陰ながら選手を助け支

私は体を動かすのが好きで、スポーツの中でもバレーボールが一番好きです。バレーは6歳からやっています。今でも月に数回クラブチームで練習しています。私のポジションはレフトで、試合の中で最もスパイクを打つポジションだったので相手チーム

えるのが仕事です。自分が
尽くした選手たちがコート
の中で頑張ってボールを追
う姿を見るのが楽しみでし
た。もうすぐオリンピックが
始まるので、男子は惜しくも
出場を逃しましたが、女子
は出場するのでみなさんも
応援しましょう!



中學時代の下出職員(左から2番目)

ちゅうと猪俣

**JAマン
コーナー**

発信No.32

J A職員からのオススメを
ジャンルにこだわらずに
紹介するコーナーです。

「バレーボールの 魅力」

管理部 管理課
下出 聖奈

行事予定表

8月1日(月)~8月31日(水)

8月 1日(月)

聖徳太子奉賛会

8月 5日(金)

J A ところ子ども料理教室

8月11日(木)

山の日

8月15日(月)

お盆休み

8月16日(火)

お盆休み

8月22日(月)

第7回理事会

8月28日(日)

農休日



第5回理事会報告

1. 資金貸付に伴う農協と理事の契約について

原案の通り貸付することで承認されました。

2. 固定資産の取得について

次の固定資産を取得することで承認されました。

○名称 旧ホクレントラック車庫外壁屋根張替

・事業費 4, 050千円

・業者 (株)十亜板金工業

○名称 事務所裏駐車場排水整備工事

・事業費 1, 800千円

・業者 (株)円輪建設

○名称 加工馬鈴薯貯蔵施設 FAN室手摺、背力ゴ

設置

・事業費 1, 030千円

・業者 (株)建築工房

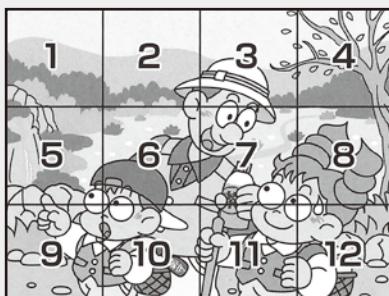
○名称 小型乗用車
・事業費 1, 660千円
・業者 生産部資材課
(ホクレン農業協同組合連合会)

〈報告事項〉

- 組織・地域リーダー研修「夢さがし塾」の実施について
- 常呂町産業振興公社決算報告について
- 債務保証の解除について
- 固定資産取得について（計画外100万円以下）
- 職員の定年・採用・出向受入について
- 平成28年度労働組合執行体制について
- 農業委員会報告について

まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探ししましょう。



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。

抽選で、粗品をプレゼントします。

先月の当選者・解答

7月号のクロスワードパズルの答えは「ウナジュウ」でした。
抽選の結果、次の方々が当選しました。おめでとうございます。

伊藤 胡花さん(日吉) 山田 武正さん(岐阜)

田渕 春美さん(豊川) 今橋 心さん(富丘) ※()内は地区名です。

読者の声

★今週、プール開きになりやっとプールに入れました。楽しかったです。

(富丘地区・今橋 心さん)

★来月、初孫が1歳になります。

餅が背負えるか心配です。

(豊川地区・田渕 春美さん)



●竹原会長(写真円内)の講演を聞く参加者

本研修会は、北見地区農業振興連絡協議会が主催となりて、農業の知識交換や情報交換などを図ることを目的に開かれているのです。

農者交流研修会が7月1日、JAきたみらいセンター事務所で行われ、農業者と関係者など48人が参加し、当JAからも4人が参加しました。

オホーツク管内の北見市、訓子府町、置戸町の就農3年以内の若手農業者を対象にした北見地区新規就農者交流研修会が7月1日、JAきたみらいセンター事務所で行われ、農業者と関係者など48人が参加し、当JAからも4人が参加しました。

長は、JA津別町青年部の部長を務めた後、平成27年にはオホーツク農青協会長、平成28年からは北海道農協青年部協議会監事を兼任されています。今回の講演では、「JA青年部とは何か」というテーマをもとに、組織の目的やオホーツク農青協の活動を説明しました。最後に竹原会長は「青年部とは、みんなの力を合わせることで一步前進し、仲間づく



●講演会終了後に記念撮影

主催者を代表して北見市農林水産部の武田雅弘部長から開会挨拶の後、講演会が行われました。

今年の講演会は、オホーツク農協青年部協議会の竹原宏太郎会長を講師に招き

「オホーツク農青協の取り組みと新規就農者のみなさんが期待すること」と題し、講演しました。竹原会長は、JA津別町青年部の部長を務めた後、

が開催され、参加者全員で焼き肉を囲みながら、ほか地区の新規就農者と親睦を深められた有意義な交流研修会となりました。

組織活動と仲間との交流を大切に

—新規就農者交流研修会—



●説明を聞きながら、体験学習に励む大江さん

体験を通して進路決定へ役立てる

常呂高校
職場体験学習

北海道常呂高校職場体験学習が6月22日～23日の2日間の日程で実施されました。今年は、同校2年生の大江竜二さんが当JAを訪れ、1日目は生産部、2日目は管理部で業務実習を一生懸命取り組みました。

2日間の体験学習を終えた大江さんは、「農協の基本理念や事業を知ることができたのでとても良い体験になりました。これからのお進路決定に役立てたいです」と実習の感想を話してくれました。

編集後記

- 夏の風物詩といえば、花火大会。道内でも各地で週末を中心に開催されていますが、打ち上げ花火のあの光と音の迫力には、ストレス発散させたりモチベーションを上げたりする心理効果があるそうです。
- これから収穫時期に差し掛かり、徐々に忙しくなってきます。気温も高くなり暑い日も続きますが、こんな時に多忙のまま作業を続けると、事故につながる可能性が高くなります。
- 農作業の合間、気分転換や夕涼みのために花火大会はうってつけなのです。
- たまには早めに作業をやめ、浴衣を羽織って、家族みんなで花火会場へ足を運んでみてはいかがでしょうか。
- 地元常呂町やオホーツク管内でも花火大会はこれからまだまだ開催されますよ。

《営農企画課：広報担当》

笑顔いっぱい

2人でミニトマトの収穫

今月号の「笑顔いっぱい」は、岐阜地区的藤澤良世くん(9歳)とおばあちゃんの孝子さんにご登場いただきました。

藤澤さんのビニールハウスでは、自家野菜として「ナス」、「ピーマン」、「スイカ」、「ミニトマト」などを栽培しています。今日は旬を迎えたミニトマトの収穫を良世くんもお手伝い。サッカーが大好きで、ミニトマトを摘む時も、通路にボールを置いてお手伝いをする良世くん。

そんな良世くんに孝子さんは「ケガをせず健康で、思いやりのある子に育って欲しい」と笑顔で話していました。